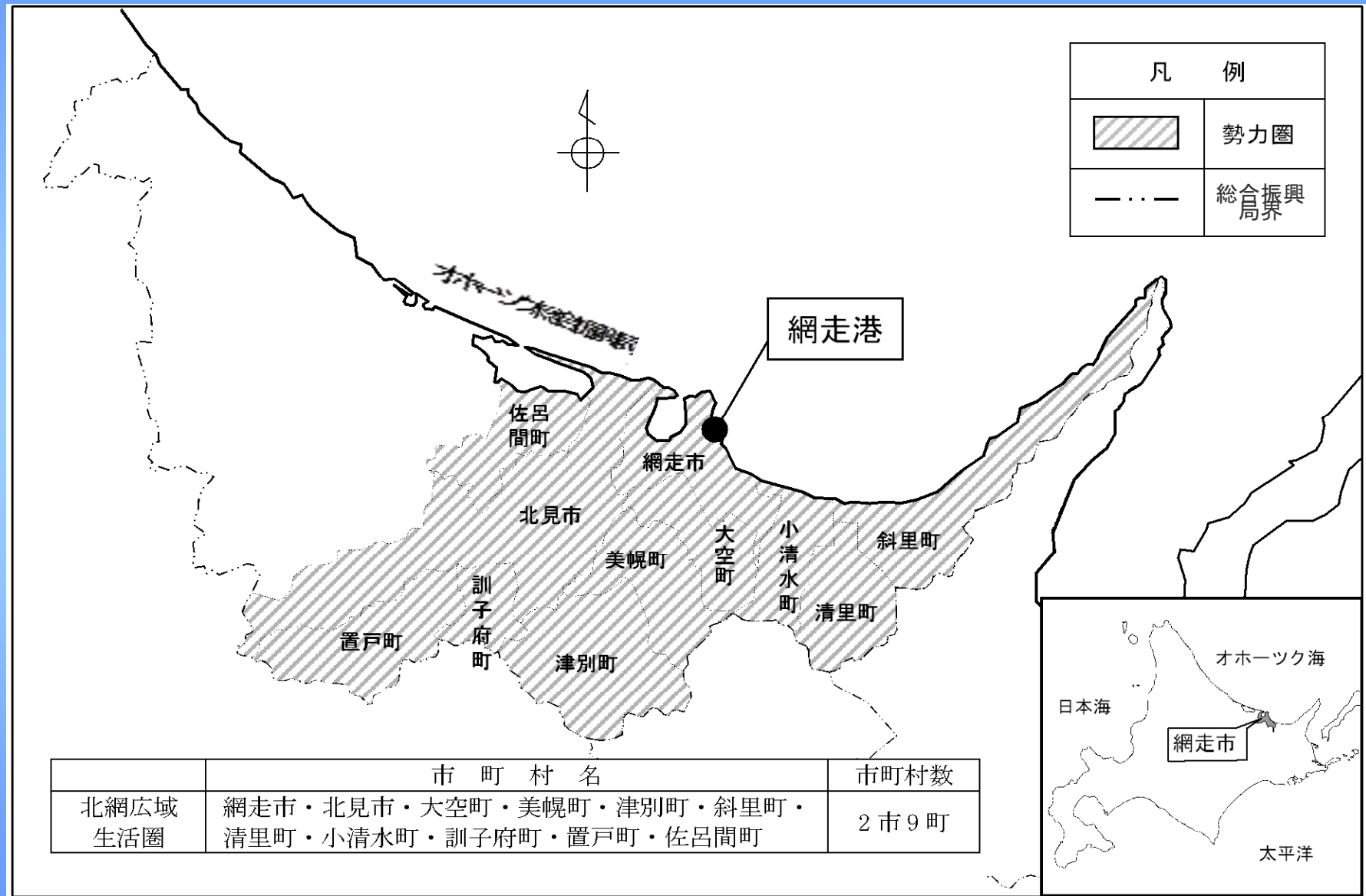


運輸審議会参考資料

網走港港湾区域の変更



網走港位置図



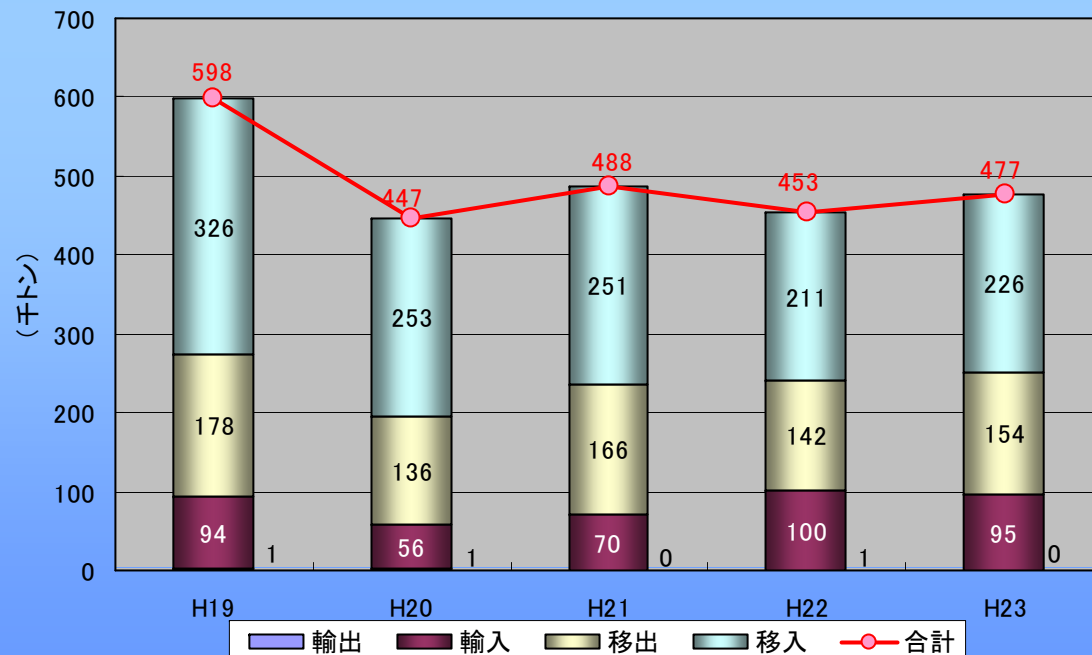
網走港主要施設、取扱品目及び主要立地企業



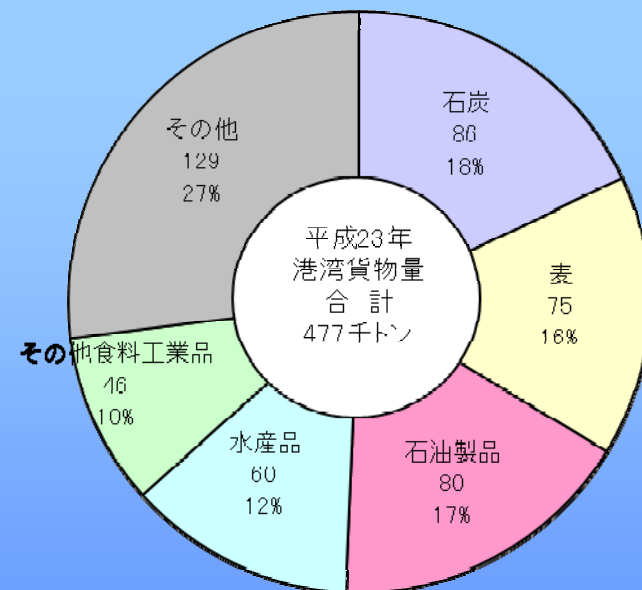
網走港取扱貨物量

- ◆ 上位5品目は、石炭、麦、石油製品、水産品、その他食料工業品
- ◆ 平成23年取扱実績は、約477千トン

網走港における取扱貨物量の推移

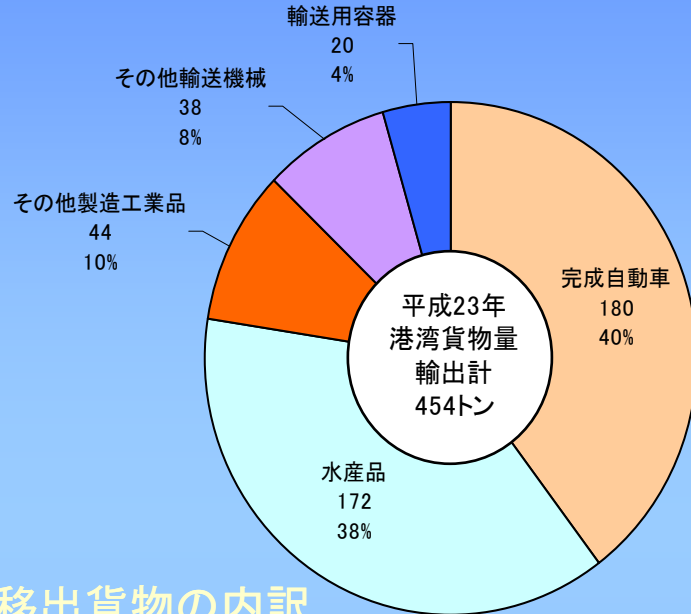


網走港における品目別取扱貨物量割合

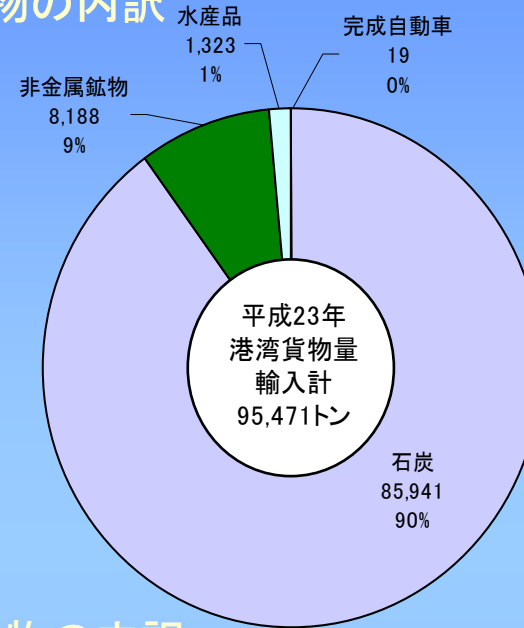


平成23年取扱貨物量の内訳

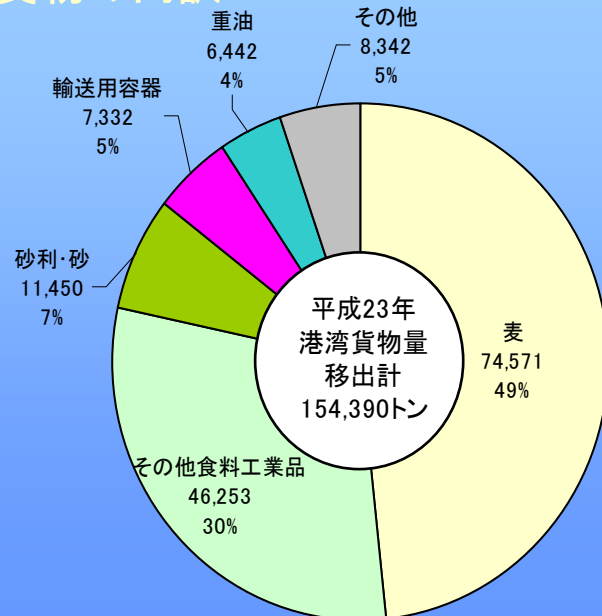
輸出貨物の内訳



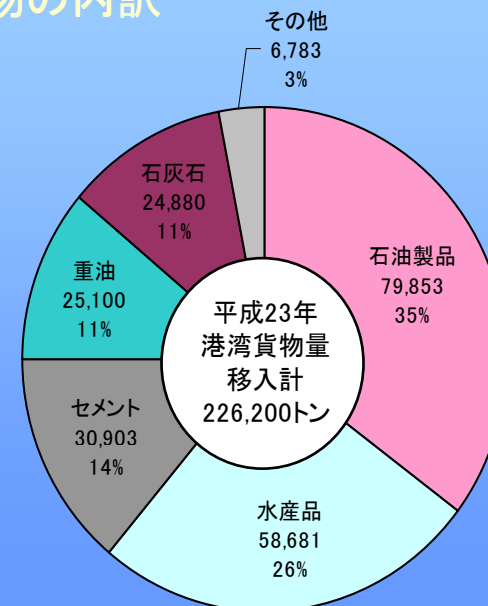
輸入貨物の内訳



移出貨物の内訳

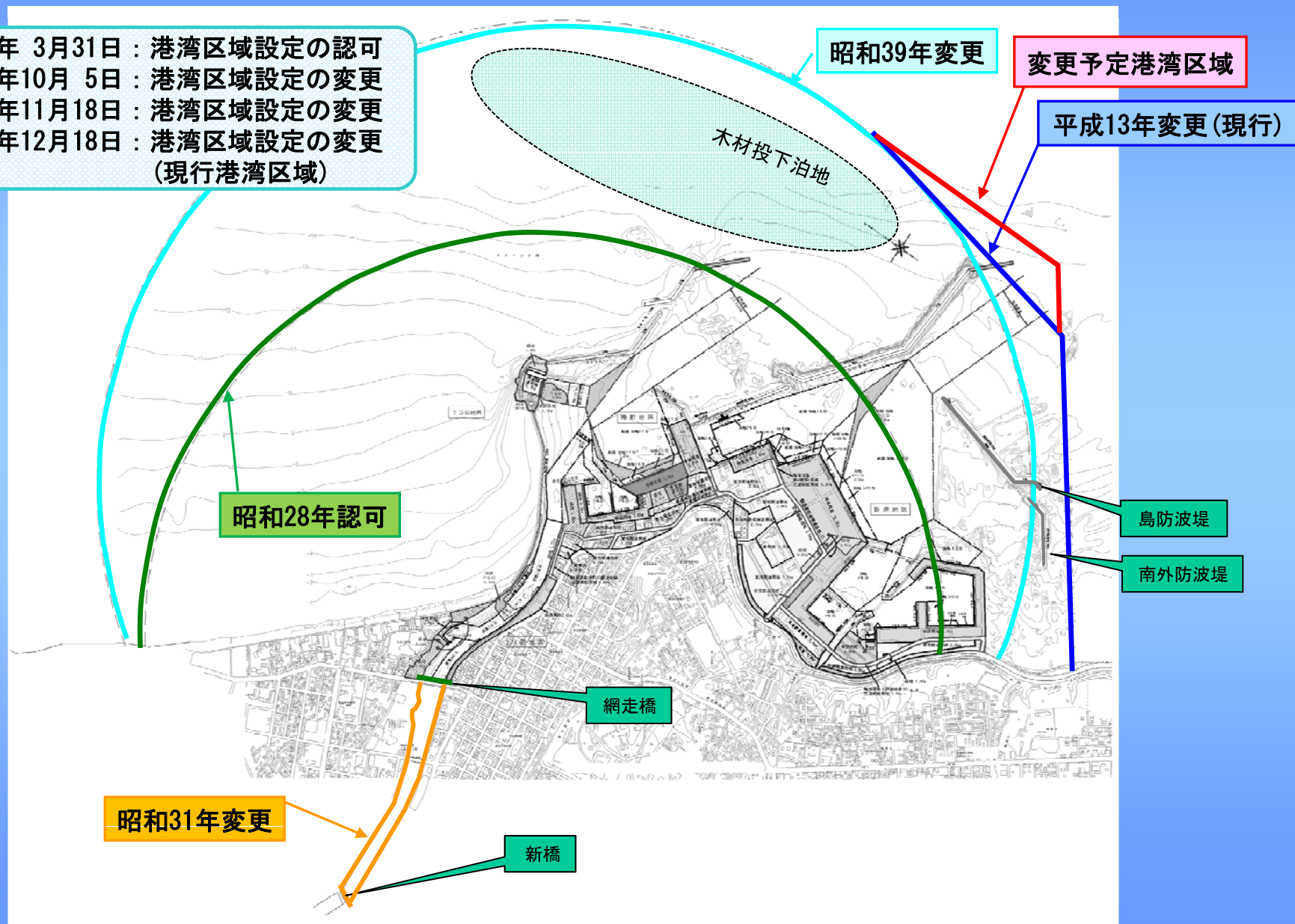


移入貨物の内訳



網走港港湾区域の変遷

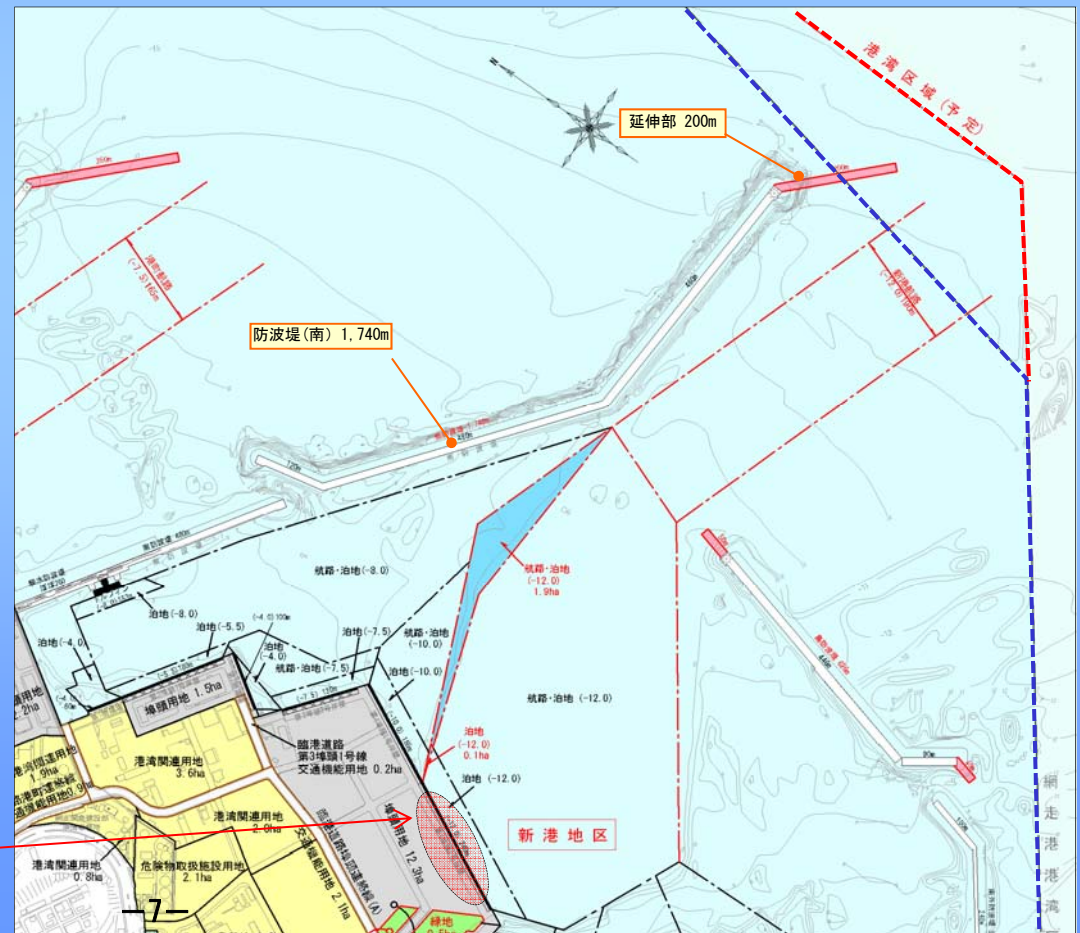
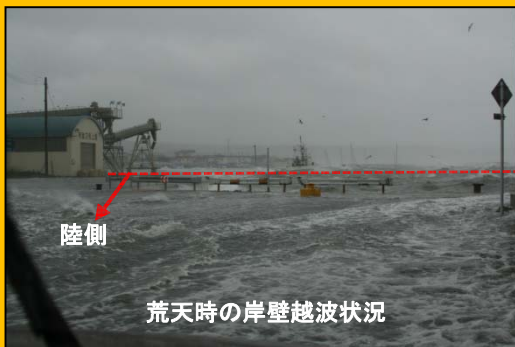
- 昭和28年 3月31日：港湾区域設定の認可
- 昭和31年10月 5日：港湾区域設定の変更
- 昭和39年11月18日：港湾区域設定の変更
- 平成13年12月18日：港湾区域設定の変更
(現行港湾区域)



港湾区域を変更する理由

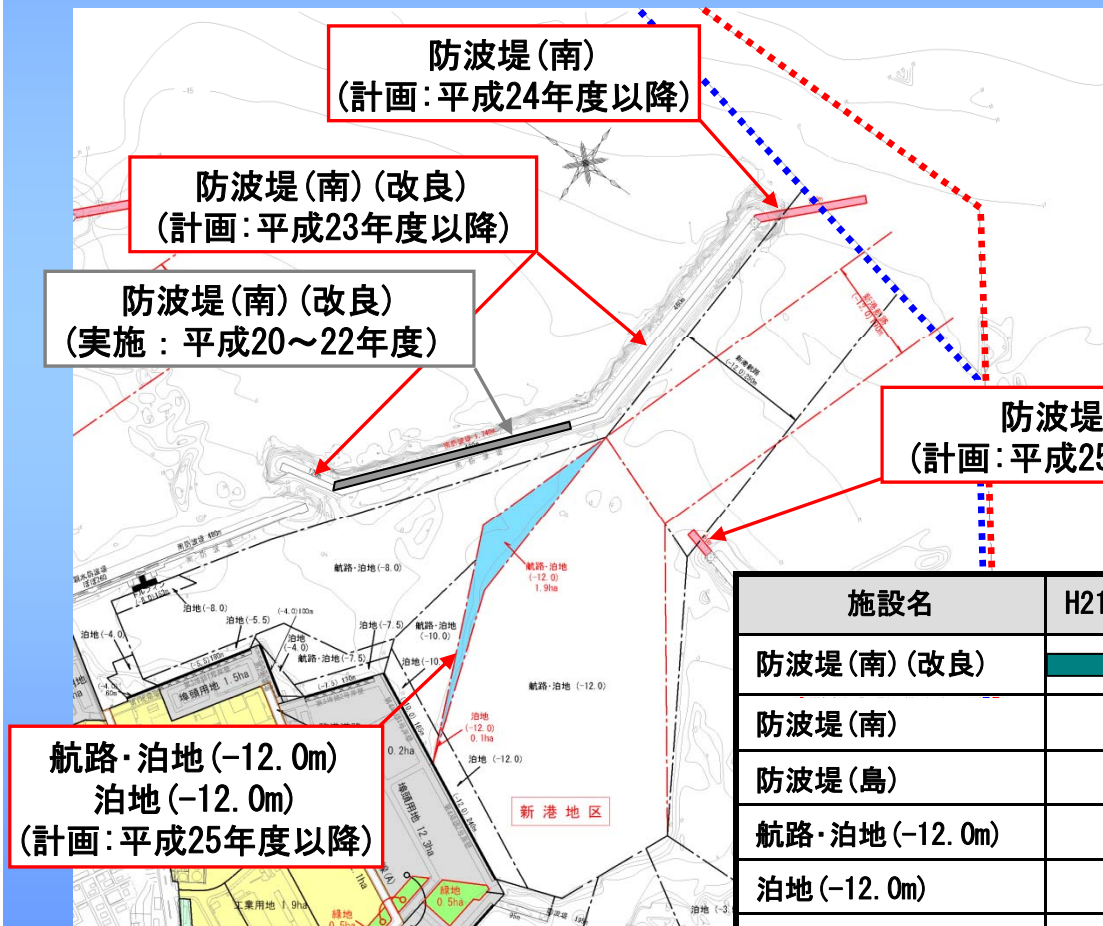
- ◆ 平成16年頃から港内擾乱が悪化。背後地への越波、防舷材や船体損傷等の被害が頻発
- ◆ 平成17年度以降、最新のデータを用いて静穏度解析を実施したところ、波向と波高の変化が見受けられ、これに対応するには防波堤(南)の嵩上げ及び延伸が有効と判断。
- ◆ 防波堤延伸部が現港湾区域外に及ぶことから、港湾区域の変更が必要となるもの。

港内擾乱による被害状況



防波堤延伸等の整備工程

- ◆ 平成20年度より、防波堤(南)(改良)の工事開始
- ◆ 防波堤(南)は、平成24年度より着手し、ケーソン現地設置による延伸開始が平成25年度開始予定

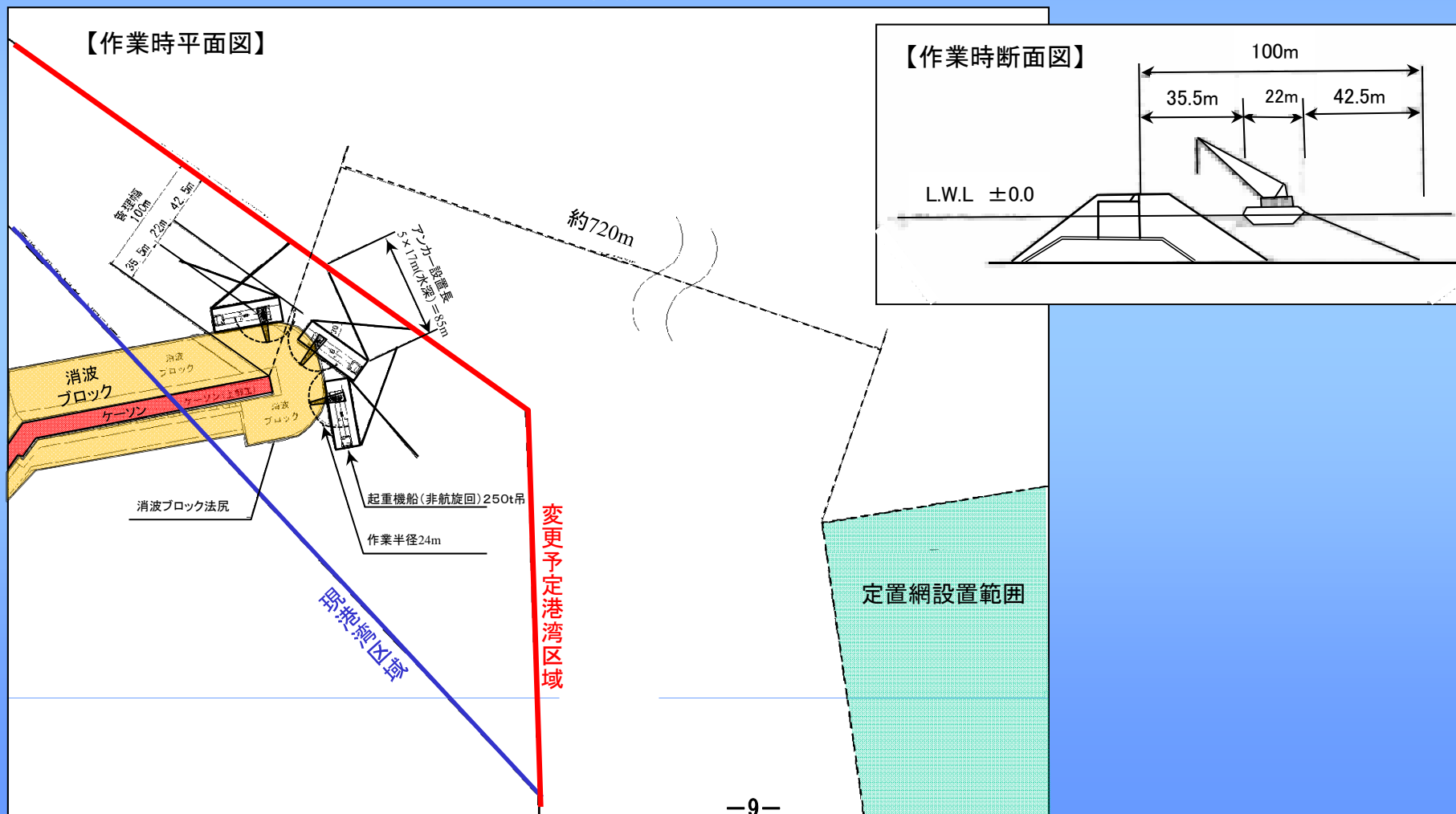


※いずれの工事も国土交通省の直轄事業により実施

| 施設名 | H21年度迄 | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度以降 |
|---------------|--------|-------|-------|-------|---------|
| 防波堤(南)(改良) | | | | | |
| 防波堤(南) | | | | | |
| 防波堤(島) | | | | | |
| 航路・泊地(-12.0m) | | | | | |
| 泊地(-12.0m) | | | | | |
| 事業費(百万円) | 2,183 | 952 | 487 | 584 | 8,796 |

網走港港湾区域設定の考え方

- ◆ 変更予定港湾区域設定のコントロールポイントとなる作業は、防波堤堤頭部における消波工（消波ブロック据付）である。
- ◆ 当該作業における作業船の作業範囲を確保するとともに、近傍海域における漁業に影響を及ぼさない範囲で、必要最小限の範囲を変更予定港湾区域と設定する。



【参考】網走港港湾区域周辺海域の漁業

- ◆ サケは、網走川等において稚魚を放流し、生育したサケは、湾内の防波堤沿いを回遊するルートで産卵のために河川に遡上する。
- ◆ このため、網走港周辺海域においては、サケの漁獲高が高く、定置網漁が盛んに行われている。
- ◆ 今般の防波堤（南）の延伸によりサケの回遊ルートの一部に干渉することとなるが、この影響が最小限となるよう配慮する必要があるものである。

